

施工 Q-10

コンクリート打ち継ぎ

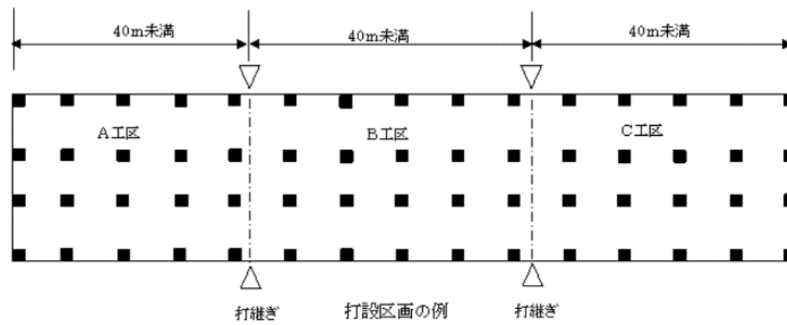
デッキ合成スラブでコンクリートを打継ぐ場合、適切な打継ぎ場所および、打継ぎ面の仕様を教えてください。

施工 A-10

1. コンクリートの打継ぎ箇所について

コンクリート工事に関する仕様書等にコンクリート打継ぎ面の特記がある場合はそれに従い施工してください。特記がない場合、一般的に梁外面から 0.5～1.0 m 程度の位置に打継ぎ面を設けて施工します。

コンクリートの打設工区分けは、各々の区画の外部拘束程度を低くし、一度の打込み量をおさえることにより、水和熱ひび割れなどの初期のひび割れを制御するのが狙いです。コンクリートの打継位置は、デッキプレートスパンの 1/3～1/4 のところが望ましいとされています。



<打設順序>  
 A→C→B: 拘束緩和効果 大  
 B→A→C: 拘束緩和効果 中  
 A→B→C: 拘束緩和効果 中

2. コンクリート打継ぎ面の仕様について

コンクリートの鉛直方向、水平方向のせん断力の伝達を考慮し、エキスパンドメタルを用い下図のように施工します。

また、タワークレーンピット周りの打継ぎ部は後で敷設する溶接金網、鉄筋の所定の重ね代が充分確保できるように打継ぎ部を設けます。

